



船が寄港した島々で住民との交流を重ねた党対策本部のメンバー（右側）＝6日 悪石島

(遠山清彦本部長)衆院議員は6、7の両日、東シナ海に浮かぶトカラ列島(鹿児島県十島村)を訪れ、島々を視察するとともに、

島民とも精力的に懇談し、離島の抱える課題を探つた。遠山本部長、江田康幸 総合本部長（衆院議員）、山本博司事務局長、長沢広明、竹谷とし子の各参院議

公明党離島振興対策本部
島民とも精力的に懇談し、
眞が参加した。

トカラ列島は、屋久島と奄美大島間に点在する有人7島と無人5島からなり、全域が十島村。南北約160キロに及ぶ日本一長い村で、人口はわずか602人と過疎化が進む。交通とい

期船「フエリードしま」(1391トン)が鹿児島市と奄美大島間の島々を週2回往復するだけ。

5日の午後11時50分に鹿児島港を出港した船は、204キロ離れた最初の寄港地

訪の瀬島、悪石島、小宝島こたからじまと寄港を重ね、最南端の宝島に午後1時すぎに着いた。その間、一行は寄港の島々で下船し、出港までのわずかな時間を割いて島民との交流を重ねた。各埠頭ふとう

離島の課題解決へ 鹿児島・十島村



敷根村長（中央右）から要望書を受け取る
遠山本部長（同左）ら＝6日 宝島

に期限切れとなる離島振興法の改正延長」を求めた。参加者からは「戦前戦後を通じ本土との格差に苦しめられている」「宝島は国境の島。領海確保のためにも無人島にならない施策を」など要望が相次いだ。

本党対策部 トカラ列島で調査、懇談

・口之島へ。乗船早々、一行は敷根忠昭村長ら村執行部と懇談。同村長は「定期船で十島村に入った国会議員は今回が初めて」と歓迎し、党視察団に期待を寄せた。

では、同村長に次いで、遠山本部長が「公明党は現場第一主義。離島の生の声を聞くため来ました」とあります。平島では「波が荒いと船が何週間も着岸できなさい。波に影響されない港を造って」と窮状を訴える婦人の姿が印象的だった。

宝島では、サルセベリマの栽培地、荒波で傾斜した防波堤などを視察後、懇談会に。冒頭、敷根村長は遠山本部長に、介護サービス事業の財政安定支援、航路運賃軽減、港湾施設整備促進など6項目の要望書を手渡し、「2013年3月末

談会では「介護サービスが受けられる施設を」「医師の巡回診療を週1回程度に増やせないか」などの声があり寄せられた。

米軍が日本から分離し統治下に置いた北緯30度線の“国境の島”。住民との懇